PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

55-061959

(43) Date of publication of application: 10.05.1980

(51)Int.Cl.

BO5D

BO5C 5/00

(21)Application number : 53-134852

(71)Applicant: MATSUSHITA ELECTRIC WORKS

LTD

(22) Date of filing:

31.10.1978

(72)Inventor: ISHIKI SHIGERU

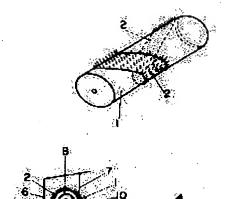
SODA TAKASHI

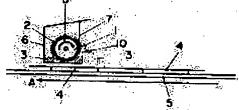
(54) DECORATING SUBSTRATE AND EQUIPMENT THEREFOR

(57)Abstract:

PURPOSE: To implement an efficient pattern coating, by a method wherein a coating roller having patterned brush planted on the surface is used to splash coating material on the substrate.

CONSTITUTION: A coating roller 1 having brush 2 spirally planted on the surface of the roller is dipped into coating material 3 in the container 6 and at the same time arranged to contact and press the brush stopper 7 at the opening 10. While the substrate 4 is moved by the conveyor belt 5 toward the arrow direction, the coating material is splashed out from the brush stopper 7 to permit the splashed material 3 to be distributed on the substrate 4. Thus, pattern coating on the substrate is facilitated, and changing rollers having different patterns can provide a variety of pattern coating.





LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of

rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

10/755457 For translateon

PAT-NO:

JP355061959A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 55061959 A

TITLE:

DECORATING SUBSTRATE AND EQUIPMENT THEREFOR

PUBN-DATE:

May 10, 1980

INVENTOR-INFORMATION:

NAME ISHIKI, SHIGERU SODA, TAKASHI

INT-CL (IPC): B05D001/30, B05B003/00, B05C005/00

ABSTRACT:

PURPOSE: To implement an efficient pattern coating, by a method wherein a coating roller having patterned brush planted on the surface is used to splash coating material on the substrate.

CONSTITUTION: A coating roller 1 having brush 2 spirally planted on the surface of the roller is dipped into coating material 3 in the container 6 and at the same time arranged to contact and press the brush stopper 7 at the opening 10. While the substrate 4 is moved by the conveyor belt 5 toward the arrow direction, the coating material is splashed out from the brush stopper 7 to permit the splashed material 3 to be distributed on the substrate 4. Thus, pattern coating on the substrate is facilitated, and changing rollers having different patterns can provide a variety of pattern coating.

COPYRIGHT: (C)1980,JPO&Japio

(19) 日本国特許庁 (JP)

⑩特許出願公開.

⑩公開特許公報(A)

昭55-61959

MInt. Cl.³

識別記号

庁内整理番号

③公開 昭和55年(1980)5月10日

B 05 D 1/30

B 05 C

B 05 B 3/00

6683

6683—4 F 7005—4 F 6683—4 F

発明の数 2 審査請求 未請求

(全 4 頁)

❷基板の化粧方法及びその装置

5/00

创特

昭53-134852

@出

願 昭53(1978)10月31日

·⑫発 明 者 石木茂

門真市大字門真1048番地松下電 工株式会社内 @発 明 者 曽田孝

門真市大字門真1048番地松下電

工株式会社内

⑪出 願 人 松下電工株式会社

門真市大字門真1048番地

砂代 理 人 弁理士 石田長七

明細

1. 発明の名称

基板の化粧方法及びその装置

- 2. 特許請求の範囲
- (i) 塗装ロールの表面に模様状に植散した削毛から飛散する塗料を移動する基板上に塗布することを特徴とする基板の化粧方法。
- (2) 基板移動用のコンペアの上方に強料相めを配設し、表面に刷毛を模様状に植設した強装ロールを強料相め内に回転自在に装着すると共に強料組めの前面に設けた開口上線の刷毛止めに刷毛を圧接せしめて成ることを特徴とする基板の化粧装置。
- 8. 発明の詳細な説明

本発明は強装ロールを用いた基板の化粧方法及びその装置に関するものであつて、強装ロール(I)の表面に模様状に植設した刷毛(I)から飛散する強料(I)を移動する基板(I)上に強布することを特徴とする基板の化粧方法、及び基板移動用のコンペア

(5)の上方に歯料剤め(6)を配設し、表面に刷毛(2)を模様状に植設した歯装ロール(1)を歯料剤め(6)内に回転自在に装着すると共に歯料剤め(6)の前面に設けた関口上線の刷毛止め(1)に刷毛(2)を圧接せしめて成ることを特徴とする基板の化粧装置に係るものである

(2)

本発明は上述した欠点を解消するものであり、第1発明の目的とするところは塗装ロールに複数を移動する塗料を移動する塗料を移動する塗装を移動するとに変更ないが、しかも塗装ロールを変更を変更した。ことができるができるのでのであり、の多いであり、の多いモルクルガンを使用することなく第1発明のを実施できるようにした基板の化粧装置を提問の多いモルクルガンを使用することなく第1発明を実施できるようにした基板の化粧装置を提供するにある。

本発明を以下詳述する。基板(4)移動用のコンベア(5)の上方には略箱状をした強料溜め(6)が配数されていて強料溜め(6)の前面板の略中央部には左右方向の略全長にわたってコンベア(5)と略直角に開口部(10が穿散されており、一開口部(10の上級は刷毛止め(1)になっている。強装ロール(1)の表面には第8図のように刷毛(2)が螺旋状に植散されていて強

.

ロール(I)を用いた場合、基板(I)の長さと塗装ロール(I)の周長とを同一あるいは塗装ロール(I)の周長とを同一あるいは塗装ロール(I)の周長を長くしておくと、基板(I)上に第4図(I)のような倒塗りができる。また塗装ロール(I)に補設する別毛(2)の模様によつては基板(I)上に種々のパターン塗装を施すことができる。関(I)の変装ロール(I)を塗料剤め(I)内に装着して塗装すれば、基板(I)上に第5図(I)乃至第6図(I)のパターン塗装を施すことができる。

本発明は上記のような構成を有するので、第1 発明にあつては基板にパターン塗装を容易にあたける容易になける。 とができ、しかも塗装ロールを変数を着えるける。 で基板に種々の異なったパターン塗装にけたいできるもので、ができを板にはません。 ができるので、能率よく基板にパターンをができるので、能率よくをできるので、を表達であったができる。 ターン塗装に最適であり、またので、のつくののののは問題の多いモルタルガンを使用する。 は問題の多に実施できるものである。

本発明を以下、実施例により鮮述する。

(5)

装ロール(I)の両端は歯料溜め(B)の両側板に回転自 在かつ取外し自在に装着されており、歯装ロール (1)の下部は強料剤め(8)の下部に削められた液状の 塗料(3)に十分漬かると共に開口部(Q)の上部付近の 刷毛(は)は刷毛止め(1)に圧接して屈曲できるように なつている。しかして平板あるいは放形板状をし た合成樹脂板、金属板、無機質板、あるいは木板 のような基板似上にパターン歯袋を施すに当つて 、 第 2 図のようにコンペア(6)上に複数の基板(4)を 対向する端面が互いに密着するように並べた後、 コンペア値を第2図中▲矢印方向に移動させると 共に羞装ロール(1)をB矢印方向に回転させる。歯 装ロール(1)が回転すると歯料溜め(8)の歯科(3)に資 つた刷毛(2)は歯科(3)を含んで上方に回転し、刷毛 止め(7)で刷毛(2)を一担強料瘤め(6)の内側方向に屈 曲させた後、樹毛包を開口部00から外部にはじき 出し、はじき出された刷毛(2)から外部に飛散する **塗料(3)を基板(4)上に盤布する。このさい刷毛(2)か ら強料瘤め(8)内に飛散した強料(3)は内壁を施下し** て下部の歯科限りに再び流入する。第8図の輸装

141

実施例 1.

実施例 2.

実施例 1 と同じ条件で、第 9 図 (a) (b) のような塗装ロールを用いると第 1 0 図のようなパターン塗装を得た。

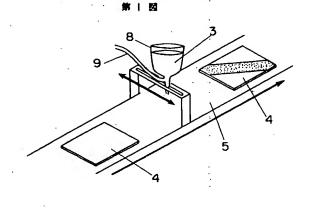
· 実施例 8.

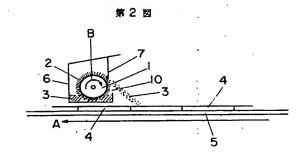
第7 図の装置を用い、実際に瓦(地瓦・棟瓦。 ケラバ等)に斜端りのパターン強装を施したところ、瓦に鮮明な斜端りパターンを形成できた。 4. 図面の簡単な説明

(6)

第1図は従来例の斜視図、第2図は本発明の概略図、第8図は同上の強装ロールの斜視図、第4図は同上の強装ロールの斜視図、第4図は、第5図(a)(b)は基板上に施した斜線りパターン強装例の強装ロールの斜視図乃至第6図(a)(b)は他の実施の正面図、第7図は実施例1の概略工程図の(a)(b)乃至第1の図は実施例2の接口ールの斜視図、第8図(a)(b)乃至第1の図は実施例2の接切に面図であり、(同面図乃至同上のパターン強装の正面図であり、(同面図乃至同上のパターン強装の正面図であり、(同は強装ロール、(2)は強料。(4)は影響、(5)はコンペア、(6)は強料。(7)は刷毛止めである。

代理人 弁理士 石田長七





(7)

